

Annual Report

年次報告書

2025年度



特定非営利活動法人
ダイバーシティ工房



当法人は、2026年3月21日をもって設立14年を迎えました。学習支援から始まった私たちの活動は、これまで出会った子ども達やそのご家族の状況に触れながら、必要とされる事業をカタチにし活動を広げてきました。

2026年度は、昨年に続き住まい、特に障害がありながら子育てをする家庭向けのグループホームの開所に力を注いだ1年でした。シェルターをはじめ当法人のサービスにつながる若年女性や母子の中には、様々な生い立ちや背景、また、親子とも発達特性や精神疾患があることも少なくありません。障害がありながら母親がひとりで子育てすることは想像以上に大変だということを目の当たりにしました。全国的にも母子で入居できるグループホームはほとんどありません。

そうした中で、「どんな過去や特性があっても、その人らしく幸せに暮らせる住まいを創りたい」と思い、新たな拠点づくりに取り組んできました。私自身は、2020年に家族で移り住んだ沖縄県うるま市でも居住支援の事業を立ち上げました。千葉県でこの数年培ってきた、若年女性や母子を支える包括的な支援は、沖縄県でも再現性があり、多くの家庭の受け皿になれる、とこの数年で確信したからです。自分の住むうるま市でまずは困っている母子の支えになり、今後は千葉県でも沖縄県でも、より多くの地域の支援者と結びつきながら支えられる人の数を増やしていきたいと考えています。

これからも、目の前の一人ひとりの声を大切にしながら、「全ての家庭が安心して暮らせる社会」の実現に向けて歩み続けてまいります。引き続き、皆さまのご支援とご協力を、どうぞよろしくお願いいたします。



NPO法人ダイバーシティ工房 代表
不破 牧子

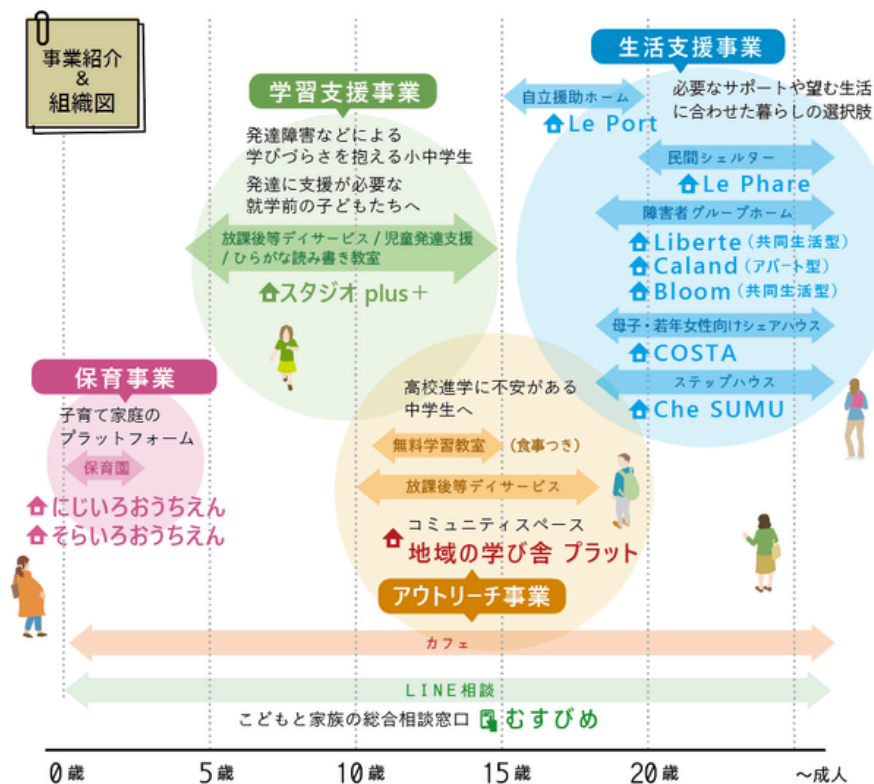
全ての家庭が安心して暮らせる社会へ

相談先がどこなのか
わからない

行政窓口に行く時間
や余力がない

利用できる支援が
ない

困りごとを抱えていても、どこにもつながらず、支援が届かない。
結果として孤立し、困窮が深まっていく——制度の狭間に落ちてしまう人たちがいます。私たちは、「ちょっと困った」ときの行き先が暮らしの中のさまざまな場所にあるように、支援につながる入口を地域の中につくっています。



アウトリーチ事業部



食事つき無料学習教室 プラット

ひとり親世帯をはじめ、経済的な面で塾の利用にハードルがある家庭の中学生等を対象とした食事つき無料学習教室を年間60回開催。10月には地域に開かれた「秋祭り」を開催し、50名以上の参加がありました。現役の利用者に加え、卒業生にもボランティアとして参加してもらうことで、卒業後も緩やかにつながりを持つことができています。

夜間定時制高校での活動

夜間定時制高校での食料支援・校内居場所カフェ活動（千葉県から受託）を年に11回開催しました。在校生にとっては学年を超えた交流の場になっているほか、卒業・中退した生徒もボランティアとして参加するなど、学校から離れたあともつながりが見られています。



子どもと家族の総合相談窓口 LINE相談むすびめ

年間約1,000名の登録、年間9,000件の相談がありました。虐待、DV、子育て、家庭内不和、人間関係、生活困窮、精神疾患の悩みなど多岐に渡る相談が寄せられました。必要に応じて地域の支援への接続や情報共有のサポートを行いました。また千葉県より「困難な問題を抱える若年女性等支援業務」の委託を受け開設した「むすびめ@千葉女性相談」では、年間303名の登録、1,974件の相談が寄せられました。

むすびめ利用者からのアンケートをまとめた「むすびめみんなの声」をお読みいただけます



無料学習教室

参加者数
(のべ) **338** 名

夜間定時制高校

食料配布
人数 (のべ) **400** 名

LINE相談

年間相談
件数約 **9,000** 件

保育事業部

企業主導型保育園「にじいろおうちえん」 小規模保育園「そらいろおうちえん」

1人ひとりの発達や興味関心にあわせた保育を行う当園で、2025年度は34名の園児たちが過ごしました。昨年に引き続き、市内のこども発達支援センターに年4回保育観察およびアドバイスに来ていただき、発達が気になる園児の支援を丁寧に行っていました。

また、医療的ケア児の入園にも継続して対応できるよう、医療的ケア児等コーディネーターを講師に迎え、全職員が研修を受けました。



おうちえんに通い、
心配・不安が軽減した
(保護者アンケート)

92.8 %

25年度にインクルーシブ
保育の環境で育った園児

34 名

学習支援事業部



放課後等デイサービス スタジオplus+

お子さんの進路選択に不安を抱える保護者の声を受け、「保護者向け進路セミナー」を開催。高校生・社会人の保護者をゲストに迎え、進路選択経験の共有と保護者同士の交流を行いました。また、市川市はじめ、船橋市や江戸川区における支援関係者の集まりにも積極的に参加し、地域との繋がり強化に取り組みました。

ひらがな読み書き教室

ひらがな読み書きにつまずく子どもたちの理解者や、支援者を増やすことを目的に「ひらがな読み書き支援者養成講座」を新たに開講しました。体験会含め35名の方に受講いただき、「実践につながる新しいアプローチに出会えた」「読み書き支援の大切さを改めて実感した」等の声が寄せられました。



オリジナル教材
の開発も行いま
した

25年度に支援
をした子ども

381 名

個別支援による
年間セッション回数

15,367

回

生活支援事業部

障害者グループホーム Liberte/Caland/Bloom

2025年2月に法人2拠点目となる戸建て型ホーム、同年4月にはアパート型ホーム、続く10月には沖縄県うるま市で戸建て型ホームを開所し、合計22名を受け入れました。アパート型ホームの要望は多く、2026年1月には新築のアパート型ホーム（市川）を開所しました。単身者だけではなく、母子の受け入れも行っています。



新築グループホームの開所にあたり、IKEA Tokyo-Bay様より家具コーディネートのご寄贈をいただきました

シェアハウス COSTA

単身・母子が入居できるシェアハウスで17世帯25名に住まいを提供しました。離婚、別居などで急ぎで住まいを探しているものの保証人や初期費用がネックとなり一般賃貸での契約にハードルがある母子等からの問い合わせが多数ありました。

自立援助ホーム Le Port

虐待等の理由により家庭で暮らせない児童6名に、衣食住のほか心理的ケアや就労・進学サポートを行いました。ご寄付により、児童と職員の外出や外食、成人の振袖撮影などが実現し、経験しづらかった機会や体験を提供することができました。

助成金やご寄付で購入した食料の配布場所をシェルター拠点に設置。
「必要なときに助かる」との声をいただいています



シェルター Le Phare

DVや家庭内不和、経済的な困窮がある方からの相談を受け、22世帯42名のシェルター受け入れを行いました。シェルターの利用を経てグループホームに移動するケースもあり、本人や子どもの中長期的な暮らしやすさに寄与するためのサポートや相談機会を提供しています。

2025年度に
入居した母子の数 **17** 世帯 **46** 名

活動開始以降の
入居世帯数 **120** 世帯

Highlight

沖縄県うるま市にて、2025年10月に障害者グループホーム、12月にシェアハウスを開設しました。沖縄県は子どもの貧困率や母子世帯数の割合が全国でも非常に高い状況です。2020年に代表不破がうるま市に移住して以来、必要な居住支援が届きにくい実態を見聞きしてきました。母子で入れる施設は中でも数少なく、このたび開設に至りました。25年度は子どもを含む22名の受け入れを行いました。



2025年度会計報告

2025年度は、生活支援事業で大きく動きのあった1年でした。住まいの確保に困難を抱える方への支援を広げるため、障害者グループホームを中心に千葉県市川市および沖縄県うるま市で新規5拠点を開設しました。この事業拡大に伴い、全事業部収入に占める生活支援事業部の割合も増加しています。既存事業においては、学習支援事業部で教室統合を行ったことにより前年比では収入の減少が生じたものの、事業部全体としては運営体制の強化が図られ、引き続き安定した収益を確保しています。

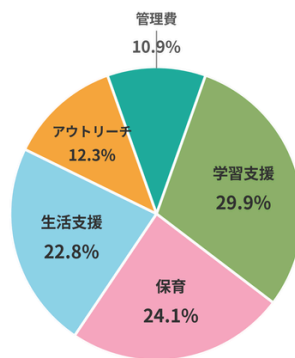
2026年度以降は、新設拠点の入居・稼働率の向上とともに、収益基盤の一層の強化を目指してまいります。今後も持続可能な運営体制を築き、より良い支援をお届けできる環境づくりに努めていきます。引き続き温かいご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

収入推移

(千円)



2025年度 支出比率



活動計算書・貸借対照表・財産目録を含む決算報告書は
ダイバーシティ工房Webサイトでご覧いただけます。

ご支援いただいた皆様

【委託事業】

- ・千葉県困難な問題を抱える女性支援事業
- ・千葉県高校生の居場所設置・相談支援事業
- ・市川市中高生の居場所づくり事業

【補助金】

- ・厚生労働省 孤独・孤立対策のための自殺防止対策事業
- ・千葉県民間シェルター等活動支援補助金
- ・市川市子どもの居場所づくり支援事業補助金

【助成金】

- ・日本財団「公益・福祉募集」
- ・野村グループ基金「みらい助成プログラム」
- ・赤い羽根福祉基金「居場所を失った人への緊急活動応援助成」
- ・赤い羽根福祉基金「被害者やその家族等への支援活動助成」

【ご寄付】

- ・企業：IKEA Tokyo-Bay様 生塩工業様
- ・個人：鈴木徹様 小川保世様
- ・マンスリーサポーター：40名の皆様
- ・単発・物品：92件

ダイバーシティ工房の活動を応援・ご支援いただいた全ての皆さまに感謝申し上げます

ご寄付のお願い

ー全ての家庭が安心して暮らせる社会へー

様々な困難や生きづらさを抱えるときも、自分らしくいられる場所や人と出会い、暮らしていける。そんな地域と一緒に創っていきませんか？

● 継続的なご支援「マンスリーサポーター」

毎月1000円～のご寄付で、子ども・若者・その家庭を継続的に支えることができます。

● 今回のご寄付

任意の金額をご寄付いただけます。

クレジットカード・銀行振り込みからお選びいただけます。

銀行口座

金融機関：ゆうちょ銀行（金融機関コード：9900）
支店名：〇五八（支店コード：058）
口座種別：普通
口座種別：6389110
口座名義：特定非営利活動法人ダイバーシティ工房
トクビ）ダイバーシティコウボウ

ご寄付のお申し込みはこちら



※当法人は市川市の条例指定NPO法人です。市川市にお住まいの方は、住民税の寄付金控除が受けられます

無料購読やフォローでダイバーシティ工房のことを もっと知る

ダイバーシティ工房 🔍

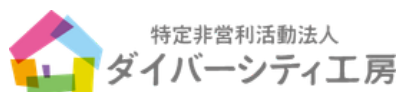


note

メールマガジン



最新の活動や拠点での様子を発信中



WEBサイト <https://www.diversitykobo.org>

所在地 〒272-0034 千葉県市川市市川1-9-1 AKIOビル4階

連絡先 TEL 047-711-1136 Mail : info@diversitykobo.org

運営施設一覧

🏠 放課後等デイサービス スタジオ plus+

市川中央教室 千葉県市川市市川 1-9-1 AKIO ビル4階 TEL 047-711-1139
本八幡教室 千葉県市川市八幡 3-8-19 第9モリビル3階 TEL 047-316-1366
瑞江教室 東京都江戸川区東瑞江 3-41-6 UHRビル201号 TEL 03-6638-8136
船橋教室 千葉県船橋市宮本 1-21-8 ウィン船橋103・104号室 TEL 047-411-7798
西船橋教室 千葉県船橋市葛飾町 2-383-1 バリアントG105号室 TEL 047-401-0979

🏠 にじいろ・そらいろおうちえん

（にじいろ）
千葉県市川市市川 1-12-23 メゾンドロワール202（そらいろ）
千葉県市川市市川 1-12-23 メゾンドロワール101（共通） TEL 047-712-5022

🏠 地域の学び舎「プラット」

千葉県市川市平田 2-8-1 TEL 047-718-2330
↳ 放課後等デイサービス・プラット / プラット学習教室 / コミュニティカフェ など

🏠 障害者グループホーム

Liberte(リベルテ)/Caland(カランド)
千葉県市川市 TEL 080-4904-8095
Bloom(ブルーム)
沖縄県うるま市 TEL 080-7680-2655